

おもかげ WebCome!

『魅力ある住みよい明るいまち面影』を目指して《第10号》

今回の**2**枚：夏祭り、盛大に



アップ日 令和8年7月31日 発行：面影地区まちづくり運営協議会総務部

7月実施のまちづくり事業

*暮らしを軽やかに楽しむための整理収納術② 6月30日(火) 生涯学習部事業

2回目の今回は、整理の基本・要るいらないの決め方について学びました。16名の方が参加し、まずは前回の振り返りとして「1箇所片付けてみる」という課題について、自分の気持ちや周りへの影響などの変化について話し合いました。その後、今日のテーマである「いらない」に入れるのを迷う理由について、お隣同士で意見交換などをして、今回もたいへん盛り上がりました。



*七夕まつりとおはなしの会 7月4日(土) 生涯学習部事業

七夕が近いということで、七夕イベントを開催したところ9名の子どもが参加してくれました。七夕にまつわる紙芝居や絵本を読み聞かせの会の方々に読んでもらったり、七夕飾りをつくったり、短冊に願い事をかき、笹に飾り付けしました。そしてゼリーにトッピングをして美味しくいただきました。最後に飾った笹の前で記念撮影をして終了しました。みんなの願い事がかなうといいですね。



*町区対抗ボウリング大会 7月11日(土) 健康福祉部事業

今回はじめてボウリング大会を企画したところ、申込期限(7月3日)で3町区しか申込みがなく開催ができるか心配されましたが、そこから声がけをし、一般参加者やまちづくり運営協議会・健康福祉部、そして5町区(雲山・面影一丁目・面影二丁目・大杵一・新桜谷団地)の皆さんに参加していただき、なんとか40名で大会を開催することができました。

当日はストライクやスペアを取るたびに拍手やハイタッチで喜びあい、大いに盛り上がりました。終了後、個人戦と団体戦の表彰式を行い、健闘をたたえ合いました。

参加者からは、またやろうと言う声も上がるなど、次につながる大会となりましたので、もっとたくさんの町区が参加できるよう考え、次年度以降も実施していきたいと思います。

<団体結果>

優勝:雲山 準優勝:頑張れ女性チーム 第3位:面影二丁目 第4位:健康福祉部
第5位:面影一丁目 第6位:まち運協 第7位:新桜谷団地 第8位:大杵一

<個人結果> ハンデあり

1:渡邊	2:井関	3:横川	4:土手口	5:稲田	6:西原	7:栗岡	8:松村
9:宮根	10:前田	11:山本	12:岩井	13:中野	14:久林	15:住	16:宮根
17:前田	18:霜村	19:宮本	20:坂本	21:菅原	22:安田	23:足立	24:中村
25:宮本	26:森本	27:福長	28:小倉	29:青木	30:安谷	31:横川	32:岩本
33:横川	34:吉田	35:松下	36:加藤	37:横川	38:浜本	39:小崎	40:中村



*竹灯籠づくり 7月16日(木) 環境美化部事業

昨年からはじめた面影山の竹をつかったの竹灯籠づくり、今年も行っていきたいと思います。今回は、始まる時間を①9時から②10時から③11時からの3班にわけ実施したところ10名の方にご参加いただきました。

参加者にはそれぞれに好みの図柄と竹を選んでもらい穴をあけていきました。初めてドリル作業される方がほとんどだったので、肩に力が入り汗だくで作業されていました。

今回は、県教育委員会が公民館活動としての生涯学習を紹介するYouTube 撮影に来られ、参加者にも出演していただきました。QRコードをのせときますので、ぜひご覧ください。

また、この事業は県民の参画と協働による森づくりを推進する「豊かな森づくり協働税」を活用しています。



*健康ま〜じゃん広場⑤ 7月17日(金) 健康福祉部事業

今年度5回目の健康麻雀は、男性3名・女性3名の方が来られました。なかでも女性2人は、他地区から来られた初心者の方でした。

*面影地区夏まつり 7月25日(土)

前日準備と当日の朝の準備の時は、
たいへん暑く、皆ブルブル汗をかいていましたが、
いざ本番になると風がふき、少し暑さが和らいだなか
開催することができました。

オープニングの桜ヶ丘中学校吹奏楽部と鳥取環境大学和太鼓チームの演奏からはじまり
食べ物と遊びのブースがオープン、面影二丁目のお神輿紹介、お楽しみ抽選会、
ラストの花火と17時から始まり、あっという間の3時間でした。

たくさんの方が来場され、とても楽しんでおられました。実行委員・ボランティアの皆様
本当にお疲れ様でした。

祭



*サマースクール① 7月27日(月) 生涯学習部事業

毎年恒例のサマースクールを今年も3回実施します。1回目の今日は、宿題1・宿題2・工作と今年はしっかりと勉強する時間をとる内容としました。宿題の時間には、地域から10名程のボランティアの方が来て下さり、39名の子どもたちのサポートをしてくださいました。工作では、竹風鈴づくりに挑戦しましたが、ちょっと工程が難しく子どもたちはかなり苦戦していましたが、それぞれオリジナルの風鈴をがんばって完成させました。



*暮らしを軽やかに楽しむための整理収納術③ 7月28日(火) 生涯学習部事業

3回目の今回は、収納の基本・散らからないルールについて学びました。収納の4原則①四角く区切る ②立てて置く ③直置きしない ④8割収納 についてや、家事がラクになる収納のコツ等についてお話していただきました。3回目ともなると皆さんかなり打ち解けてきて、意見交換や実践発表などでもかなり盛り上がる良い雰囲気になってきました。参加者は、はじめての方4名を含めた17名でした。



*夏休みおでかけ教室 7月31日(金) 生涯学習部事業

この事業については、次号でお伝えいたします。

面影地区体育会情報

■面影地区スポーツ大会(旧称:面影体育祭)

□ソフトバレーボール大会結果 7/20(月・祝)

優勝:大杵一 準優勝:正蓮寺 第3位:桜谷団地

■鳥取市民スポーツ大会(旧称:市民体育祭)

種 目	日にち	結 果
水 泳	7月 5日(日)	6位
弓 道	7月 5日(日)	4位
ペタンク	7月12日(日)	予選敗退
女子バレーボール	7月19日(日)	優勝
男子バレーボール	7月26日(日)	3位



シリーズ 面影探訪⑦

必見！面影山の巨木 多聞杉!!

面影郷土史研究会 大西 孝雄

◆面影山に鎮座する巨木「多聞杉」とは

正蓮寺の面影神社鳥居脇の石段を上り、右に折れて7~80m歩くと、「面影山のような小さな山によくもこんな・・・」と誰もが目を見張る巨大杉に遭遇します。これは、かつての毘沙門堂（現在の毘沙門堂は、山内良磨氏が募金と私財でもって昭和41年に現在地に建立）の脇にそびえていたものです。池田家の家老荒尾美作守秀就が1705年に多聞寺を開き、その子常就が毘沙門天（多聞天）を祀るお堂を創建したとされていますが、その頃に植栽されたとすれば樹齢は300~350年あたりと推測されます。大きな枝が四方八方に伸びた堂々とした佇まいは、毘沙門天（多聞天）と共に現在に至るまで人々の信仰の対象であり面影の誇りでもあります。樹高は約30m、幹回りは約4.7mで、平成10年に「鳥取県の銘木100選」に選定されています。



◆毎年多聞杉を見学し、歴史やその大きさを学ぶ面影小学校の3年生

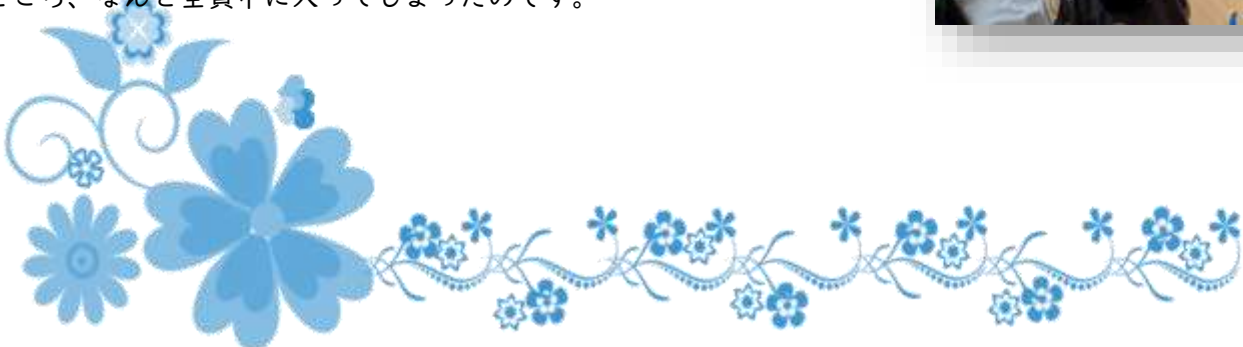
面影小学校の3年生は、毎年総合的な学習の時間を使って多聞杉と麓にある毘沙門堂の見学に訪れています。以前は約半日をかけて面影山の名所旧跡を探訪していましたが、近年は案内する人たち（多聞の会及び郷土史研究会）の高齢化、並びに大人数の山歩きに対する安全面での危惧、学習時間の縮小などの理由により、4年前から多聞杉と毘沙門堂を中心とした学習へと移行しました。この写真はその時の見学の様子です。



◆多聞杉の大きさを実感した子どもたち

実は、今年も7月2日に見学を計画したのですが雨天のため現地での学習は断念し、小学校の多目的ホールで学習しました。紙芝居を見たり、プレゼンで写真を見たり説明を聴いたりした後、実物は目の前にないのですが、多聞杉の大きさを実感する体験を行いました。

綱引きでも使えそうな太いロープを用意し周囲6m15cmの円を子どもたちの前に提示しました。この円は何かというと、多聞杉の地上約5cmあたりの幹回りを表したものです。直径は約2m。実際の多聞杉では絶対に不可能ですが、この仮想の幹の中に子どもたちが入ってみることにしました。3年生は全員で41名。さて何人入れるのだろうか次々入ったところ、なんと全員中に入ってしまったのです。





次は外に出て、ロープの周りを肩をくっつけた状態でぐるりと取り囲むと、20人ほどでやっと囲むことができました。子どもたちはこの体験で、多聞杉の大きさを十分に実感することができました。

なお、前述していますが、多聞杉の正式な幹回りは4m70cmです。地上1m20cmの場所を毎年子どもたちと一緒に巻き尺で測っています。今年の3年生はまだ計測する体験はできていませんが、後日現地に出かけ、本物に触れ、幹回りを測る体験も行いたいと考えています。



◆面影地区にまだある巨木

東今在家の上山神社には、樹齢約500年、幹回り約6m（新修鳥取県神社誌「因伯のみやしろ」より引用）のシイの巨木があります。90段弱の石段を登り切ると、右側に見事な姿が現れます。ご神木として大切に守られてきたのでしょう。こちらも必見です。

◆世代間交流を通して面影山の魅力再発見！

今年の3年生の学習では、面影山の環境整備事業の中心となって活動していただいている方に面影山の魅力について話していただきました。現在進行中の遊歩道の整備や景観をよくするための樹木伐採、伐採した木材や竹の活用等、伝えたいことはたくさんありましたが、それは配付資料を後で読んでもらうことで代用。子どもたちが一番興味を示した話は、なんと昔話。子どもの頃は学校から帰ると毎日面影山や近くの川で遊んだこと、給食ではなく弁当だったこと、教室から抜け出して面影山で弁当を食べたことなどの話に子どもたちは目を輝かせていました。「給食を山で食べていいですか」等々矢継ぎ早に質問していました。また、伐採材の活用で現在シイタケを栽培していますが、「出来たシイタケを取っていいですか」など、これもたくさんの質問がきました。このような交流体験を通して、子どもたちが地域のヒト・モノ・コトと触れ合い、地域への興味・関心をより一層高めてくれたらと思います。



シリーズ みんなで減災⑧ ゲリラ豪雨（雷雨）について

ウェザーニューズが発表した「ゲリラ雷雨傾向 2026」によると、7～9月のゲリラ雷雨は、全国でおよそ 11 万回発生する予想です。発生回数は昨年や過去 5 年平均と比べて多く、発生のピークは **8 月中旬**となる見込みです。発生回数は、およそ 8.8 万回発生した昨年と比較して多く、過去 5 年平均と比べても多くなる見込みです。鳥取県でも昨年と同じぐらいの発生数が予想されています。

雨雲の発生は山沿いがメインとなりますが、平野部（都市部）にも雨雲が流れ込んだり、直上で発生したりする場合があります。ゲリラ雷雨による短時間の激しい雨で、道路の冠水や河川の増水、落雷による停電や交通機関が麻痺するなど、様々な影響や被害が懸念されるのでご注意ください。

7月下旬から8月上旬にかけて、日本付近は太平洋高気圧とチベット高気圧に覆われて晴れる日が多くなる予想です。この時期は高気圧の勢力が強いため、雨雲の発生が抑えられる日が多い見込みです。ただ、気温が平年よりも高くなることで大気の状態が不安定となり、山沿いを中心にゲリラ雷雨が発生する日があります。8月中旬は一時的に高気圧の勢力が弱まり、湿った空気が流れ込みやすくなり、各地でゲリラ雷雨が発生しやすくなるとみえています。9月もゲリラ雷雨が発生する予想ですが、北日本を中心に秋雨前線の影響を受けるため、広域での雨に変わっていく予想です。これにより、突発的かつ局地的なゲリラ雷雨の発生は徐々に減少していき、ゲリラ雷雨のシーズンも終息に向かう見通しです。

＜ゲリラ豪雨のしくみ＞

ゲリラ豪雨とは、局地的に短時間で降る激しい豪雨（雷雨）のことです。ゲリラ豪雨は規模が小さく、突発的かつ散発的に起こるため、事前に予測することが難しいといわれています。

上空の寒気の影響や、日差しで地面が熱せられて地表近くの空気の温度が上がることにより、大気の状態が不安定になります。特に夏の時期は、太陽の強い光によって地表付近の空気が温められて上昇気流が発生しやすく、大気の状態が不安定になりやすいです。不安定な大気状態のとき、活発な対流が起こると、強い上昇気流に伴って発達した積乱雲が発生します。発達した積乱雲は、局地的に短時間で強い雨を降らせ、ゲリラ豪雨をもたらします。ゲリラ豪雨は、一時的なことが特徴なので、長くても1時間程度しか続きません。都市部のヒートアイランド現象がゲリラ豪雨を発生しやすくすることが指摘されています。



＜ゲリラ豪雨の注意点＞

- ①ゲリラ豪雨をもたらす発達した積乱雲は、ゲリラ豪雨のほか、竜巻やダウンバーストなどの突風や雷、ひょうなどの激しい気象現象を引き起こすことがあります。
- ②ゲリラ豪雨は短時間に大量の雨が降るので、中小河川の急な増水や氾濫、低地やアンダーパスの冠水、地下街の浸水などの水害が起きます。
- ③河川の上流でゲリラ豪雨があった場合、自分がいる地域で雨が降っていなくても、川の水位が急激に上昇することがあるので、河原などで遊んでいる場合には注意が必要です。

＜上流のゲリラ豪雨を知るには＞

ゲリラ豪雨によって、危険な状態になるのは、自分のいる所に雨雲がかかる場合だけではなく、川の上流でゲリラ豪雨（局地的な大雨）が発生すると、雨が降っていない下流でも、被害が発生する恐れがあります。

上流のゲリラ豪雨（局地的な大雨）を知るポイントは以下の通りです。

- ① 川の水かさが急に増えること
- ② 川の水が濁ること
- ③ 木の枝などが流されてくること

また、サイレンはダムを放流する合図なので、川のそばにいて、サイレンを聞いた場合も、必ず川から離れてください。

★おわりに

※第11号は、**8月31日（月）**にアップ予定です。